

令和6年度 第2回みやま市教育委員会定例会 会議録

◆召集日時 令和6年5月17日 午前10時00分

◆召集場所 みやま市役所山川支所 大会議室

1. 出席教育長・教育委員（5名）

- ・教育長 待 鳥 博 人
- ・委員 井 上 正 明
- ・委員 宮 本 篤
- ・委員 北 原 八州子
- ・委員 大塚 美智恵

2. 欠席委員（0名）

3. 事務局出席者（13名）

- | | |
|--------------------|---------|
| ・教育部長 | 堤 則 勝 |
| ・教育総務課長 | 河 野 成 嗣 |
| ・指導室長 | 姉川 左希子 |
| ・学校教育課主任参事補佐 | 藤 吉 裕 治 |
| ・社会教育課長補佐兼文化財係長 | 猿 渡 真 弓 |
| ・教育総務課総務担当係長 | 畠 野 和 江 |
| ・教育総務課学校再編推進担当係長 | 中 島 豊 晴 |
| ・教育総務課学校施設係長 | 今 村 幸 助 |
| ・学校教育課学務担当係長 | 高 木 美 和 |
| ・学校教育課学校給食担当係長 | 有 富 隆 二 |
| ・社会教育課地域学校協働推進担当係長 | 江口 貴美子 |
| ・指導室主任指導主事 | 上 田 理 彰 |
| ・教育研究所長 | 屋 形 朋 子 |

4. 傍聴人（0名）

5. 議事日程

- （1）会期の決定について
- （2）会議録作成者の指名について
- （3）会議録署名委員の指名について

- (4) 議案第 9 号 みやま市地域学校協働活動推進員（校区コーディネーター）の委嘱について
- (5) 議案第 10 号 学校運営協議会委員の任命について
- (6) 議案第 11 号 みやま市教育支援委員会委員の委嘱について
- (7) 議案第 12 号 みやま市山川学校給食共同調理場運営委員会委員並びにみやま市山川学校給食共同調理場運営委員会監事の委嘱について
- (8) 議案第 13 号 女山神籠石保存活用計画策定委員会委員の委嘱について
- (9) 報告事項
- (10) 次回教育委員会について

【午前 10 時 10 分 開会】

【教育長】

大型連休中の児童生徒の交通事故等について報告はない。

この時期は、児童生徒が S O S を出してくる時期であり、不登校も増加する季節である。4 月は張り切って学校に来ていたが、連休明けから休みがちになった児童生徒は要注意である。家庭との連携や、「学校に行きたい」と思わせるような学校生活の工夫を学校に指示した。児童生徒が自分に自信が持てるような取り組み、自分の長所が発揮できる学校での居場所づくりが有効である。長期欠席になる前の不登校気味の児童生徒について、早期対応を学校に指示した。

運動会、体育祭が今週末、来週末に集中している。桜舞館小学校と瀬高中では既に開催されており、短時間の練習にも関わらず、中学生は自分たちの手で作り上げ、小学生は自分自身をしっかりと表現して、運動会を成功させようとする気概が感じられ、それは競技する姿にも表れていた。学校には児童生徒の熱中症予防などの健康管理、練習時の子供の人間関係の変化等には細心の注意を払うよう指示した。

給食事故に関する学校安全調査委員会の 2 回目が 5 月 12 日に行われた。今後、関係者への聞き取りが行われる。全小中学校には全職員の危機意識を高め、リスク管理を徹底するよう指示した。

また、昨年度は本市職員の不祥事が多発し、市当局のガバナンスが問われた。学校では様々な不祥事防止のための研修等を行っているが、全国、県で、わいせつ行為、体罰、飲酒運転など毎日のように報道されている。防止の観点から、教

職員全員の個人面談が有効であり、対象者をしっかり把握するのに最も効果的である。教育委員会も危機意識を高め、児童生徒の安全安心、職員の不祥事防止に努めてまいる。

日程第1 第2回みやま市教育委員会定例会の会期は1日間とする。

…全員同意

日程第2 会議録作成者は、教育総務課総務担当係長 畠野 和江とする。

…全員同意

日程第3 会議録署名委員の指名については、教育長と大塚委員とする。

…全員同意

日程第4 議案第9号

■みやま市地域学校協働活動推進員（校区コーディネーター）の委嘱について

【社会教育課長補佐】 —提案理由の説明—

【教育長】 ・みやま市地域学校協働活動推進員の委嘱ということだが、その役割をもう少し詳しく説明して欲しい。

【地域学校協働推進担当係長】 ・学校で支援が必要な授業があれば、人材の紹介をしていただくこともある。また、地域と学校の情報を相互に共有しながら連携して進めていけるよう、定例の会議を月1回開催している。

【教育長】 ・質疑等ありませんか。
「質疑なし」

【教育長】 ・議案通り可決してよろしいですか。
「異議なし」

…可決

日程第5 議案第10号

■学校運営協議会委員の任命について

【教育総務課長】 —提案理由の説明—

【教育長】 ・質疑等ありませんか。

【井上委員】 ・主にどういう活動をされるのか。

【教育総務課長】 ・協議会の目的は、みやま市学校運営協議会制度規則第2

条にあるように、学校が掲げる教育目標の実現に向け学校運営に参画するということである。校長が提案した教育目標等について発言されたり、承認されたりするものだと考えている。

【井上委員】

- ・教育目標、学校経営計画をある程度理解している者しか委員にはなれないということか。具体的にどのように進めているのか。

【教育総務課長】

- ・私が PTA 会長として参加していた際の話になるが、まず当年度の教育目標を掲げ、何々に重点を絞って子ども達を育成していくといった話があり、年度途中には学校見学等も実施され、最終的に年度末頃に評価を実施した記憶がある。全く経験がない方が委員になられた場合でも、必要であれば学校に足を運んでいただいて、活動等を実際にご覧になった上で評価をいただくことになる。熱心な方であれば、その辺りは困られることはないと思う。

【教育長】

- ・年度当初に校長から学校経営要綱について説明があり、委員の皆さんにご意見を伺うことになる。今年度の重点課題について熟議していく。また、生徒会の役員を呼んで、彼らからやりたいことがあがれば、それに対して意見を述べたりもする。また、学校行事には参加の案内をおこなう。本協議会の任務は大きいと考える。

【宮本委員】

- ・みやま市の教育大綱、教育施策そして校長先生の教育方針がある中で、地域の一住民が承認しないと言ってもいいのか。教育計画というのは、校長先生が主体となり定めていくものだと思う。意見があれば述べていいと思うが、承認、それから評価するというのはおかしくはないか。

【教育総務課長】

- ・校長先生から学校運営方針等について詳しい説明があり、皆さんから承認いただいている現状である。

【教育長】

- ・議案通り可決してよろしいですか。
「異議なし」

…可決

日程第6 議案第11号

■みやま市教育支援委員会委員の委嘱について

- 【教育長】 ・ 質疑等ありませんか。
- 【井上委員】 ・ 去年の対象者はどれくらいだったのか。
- 【学務担当係長】 ・ 全体で94件の相談があった。
- 【井上委員】 ・ 小学校でどれくらいであったか。
- 【学務担当係長】 ・ 小中学校それぞれの件数は把握していないが、小学校に入学する新1年生の相談については24件であった。残りの70件は中学校に上がる前に受けたものもあれば、小学校入学後の児童で、特別支援学級への入級を検討するような場合の相談も含んでいる。
- 【井上委員】 ・ 小学校から中学校に上がる際に、そういった相談がどのくらい上がってくるのかは調べておいた方がいい。
- 【大塚委員】 ・ その時点で必ず検査はされているのか。
- 【教育総務課長】 ・ 小6で特別支援学級に在籍している児童がいる場合は、必ず実施されている。
- 【大塚委員】 ・ 小学校では特別支援学級に在籍していない児童が、中学校入学で新たにそういった検討が必要な場合はどうされているのか。
- 【教育総務課長】 ・ 保護者の希望があれば、学校に相談されている。
- 【井上委員】 ・ 小学校では特別支援学級に在籍していたけれど、中学校では普通学級に移ったという例もあるのか。
- 【教育総務課長】 ・ 記憶にはない。
- 【井上委員】 ・ 実態はきちんと数字で把握しておかなければいけない。今後、不登校問題と同様、特別支援は大きな問題になってくる。普通学級に特別支援学級の児童等が入っていく事で、学級全体が問題になっているとも耳にする。特別支援関係のシステムについては、対象児童・生徒数や状況の変化について、丁寧に数字を見ていかなければ現場は分からない。令和5年度だけでなく、令和4年度と比較してどう推移しているのかデータをまとめておいた方がいい。
- 【教育総務課長】 ・ まずは保護者に子どもの様子に目を配ってもらい、気付いていただかないことには対処するのは難しい。
- 【井上委員】 ・ ほとんどの保護者にとって、自分の子どもは普通に思える。

- 【教育総務課長】 ・先生の方から、保護者へ話をすることもできる。
- 【井上委員】 ・現状を知るために、例えば、小学校では特別支援学級に在籍していた児童が中学校では普通学級に戻ったというケースがあれば、それを数値で示してもらいたい。
- 【教育長】 ・指導室で数字は把握している。学校教育課は指導室と連携して、数字を確認してきちんと把握しておくように。特別支援教育は、非常に大きな課題になってくる。特別支援学級に在籍している子どもの数も数年前に比べると非常に増えている状況で、相談件数も増大している。今後みやま市でも特別支援学級の増加は大いに在りうると感じている。また、通常学級に特別支援を要する子ども達も在籍している。支援員をできるだけ配置するようにしているが、中々厳しい部分もある。一方で、インクルーシブ教育と呼ばれる、通常学級の中で特別支援を要する子ども達も一緒に教育する方がいいという考えもあって、中々難しい部分である。
- 【井上委員】 ・県立学校全体でも、普通高校は縮小している。特別支援学校は3つ新設した。これからみやま市においても、特別支援学級は増えてくる。
- 【教育総務課長】 ・特別支援学級に対する保護者の認識や理解が深まってきたことも一因だろう。
- 【教育長】 ・議案通り可決してよろしいですか。
「異議なし」

…可決

日程第7 議案第12号

■みやま市山川学校給食共同調理場運営委員会委員並びにみやま市山川学校給食共同調理場運営委員会監事の委嘱について

- 【学校給食担当係長】 ー提案理由の説明ー
- 【教育長】 ・質疑等ありませんか。
「質疑なし」
- 【教育長】 ・議案通り可決してよろしいですか。
「異議なし」

…可決

日程第 8 議案第 13 号

■女山神籠石保存活用計画策定委員会委員の委嘱について

【社会教育課長補佐】 ー提案理由の説明ー

【教育長】 ・質疑等ありませんか。
「質疑なし」

【教育長】 ・議案通り可決してよろしいですか。
「異議なし」

…可決

日程第 9 報告事項

■教育部長

【教育部長】 ・ 6 月議会について
・ 運動会、体育祭における熱中症対策等について
・ 災害時の避難所開設について

■教育総務課

【教育総務課長】 ・ 高田小学校体育館の建設スケジュールについて
体育倉庫（遊具の移設含む）
入札 6 月 5 日 工期 10 月 31 日まで
体育館
入札 7 月 24 日 工期 令和 7 年 7 月 31 日まで
電気機械設備
入札 8 月 21 日 工期 令和 7 年 7 月 31 日まで
・ 2 校統合保護者説明会について
東山中学校区 5 月 1 日 53 名参加
瀬高中学校区 5 月 8 日 26 名参加
→ 6 月下旬
学校運営協議会へ学校統合協議会委員の推薦依頼

■学校教育課

【学校教育課長】 ・ みやま市学校安全調査委員会について
5 月 17 日、総合市民センターにて開催

■指導室

- 【指導室長】
- ・運動会、体育祭における熱中症対策について
 - ・県からの委嘱事業について
道徳教育事業：瀬高中学校、瀬高小学校で研究発表会
ワンヘルス事業：桜舞館小学校、瀬高中学校で公開授業
 - ・小中高連携について
小学校児童と山門高校との交流
 - ・学校安全研修会について（全学校職員対象）

■社会教育課

- 【社会教育課長】
- ・第30回世界少年野球大会福岡大会について
- 【教育長】
- ・報告事項を以上で終了する。全体を通して質疑等お受けしたい。
- 【宮本委員】
- ・野球教室は今年限りのイベントなのか。
- 【教育長】
- ・王貞治氏が提唱し、全国で開催されている事業である。今までは一か所で開催されていたが、今年は福岡県内9か所に分散して実施されることになった。そのうちの一つがみやま市で、募集人数はみやま市から3名、柳川市から2名である。5名の小学生が参加し、グアムからの参加者5名と活動することになる。募集されているのは野球の未経験者で、啓発普及を目的としている面もある。
- 【大塚委員】
- ・計10名で野球をするということか。
- 【教育部長】
- ・7月30日から8月2日にかけて清水山荘に宿泊し、午前中は市内の野球チームと試合を行ったり、午後からは交流したり、そういうカリキュラムを組んでいくことになる。王貞治氏が、野球を知らない子ども達を対象に、野球の裾野を広げることを目的に始められた事業のようである。
- 【宮本委員】
- ・みやま市からの3名も野球を知らない子ども達ということか。
- 【教育部長】
- ・野球未経験者を対象に募集をかけている。
- 【大塚委員】
- ・もう少し募集人数は多くてよかったのではないか。
- 【教育部長】
- ・県の事業であり、人数枠は決まっていた。
- 【宮本委員】
- ・海外の子ども達と交流するとてもいい機会になる。

- 【井上委員】
 - ・ GIGA スクール構想はどうなっているのか。電子黒板などの使用状況はどうか。
- 【指導室長】
 - ・ 電子黒板は日々使用している。タブレットも、子ども達が思考する時に使うことが随分増えた。一方で、まだまだスムーズに使えていない教員もいる。研究所の方で、6年生までに達成したい目標を立てて、取り組んでいる状況である。また、ICT 推進教員を置き、全校共通の水準を設けて、そこに達する事ができるように進めている。
- 【研究所長】
 - ・ 研究主任を対象に研修を行う予定である。各学年の段階に応じた目標値を一覧表にしており、タイピング力の向上や月1度の自宅への持ち帰りも目標値に入れている。課題としては学校差、教職員差があるため、ICT の研修員にそれを埋めるように活動していただきたいと考えている。年度末には活動内容をまとめている。また、Wi-Fi が入りにくいという学校もあり、学校長からは、環境整備も課題の1つではないかと聞いている。
- 【井上委員】
 - ・ 教科書は電子媒体になるのだろうか。
- 【指導室長】
 - ・ デジタル教材の活用状況については、やはり使える場面と使いにくい場面はあるが、今はやってみる時期だと考えている。そこから精選してかなければいけないと思う。
- 【井上委員】
 - ・ 良かれと思ってやっていることが学校を忙しくしている場合がある。紙でなければいけないという先生がいる一方で、生徒はデジタルでどんどん進めていける、そういった状況で学校は複雑になっていく。
- 【指導室長】
 - ・ 学校からも紙ではなくデータを希望されたり、保護者もスマホで通知を受け取る方が都合がいいという状況がある。その一方で紙ベースでなければいけない部分も残っている。
- 【宮本委員】
 - ・ ネットワークがなくても、小テストとかで間違った部分を写真に撮って、後から復習することはできると思う。タブレットのカメラをもう少し身近なところで使用してもいいのではないかな。英語の授業とかでも、ネイティブの発音を聴くこともできるのではないかな。
- 【教育長】
 - ・ 2、3年後にはタブレットも更新しなければいけない時期になっている。その費用をどうするかという問題も出てくる。貴重なご意見ありがとうございました。

日程第 1 1 次回教育委員会について

◎定例会 令和 6 年 6 月 1 0 日（月）午前 1 0 時～

【教育長】

これで本日の日程は全て終了しました。

令和 6 年度第 2 回みやま市教育委員会定例会を閉会します。

【午前 1 1 時 0 5 分 閉会】